

## 間接法メタルフリー歯冠修復の勘所 -CAD/CAM 冠・インレー, PEEK 冠, エンドクラウンについて-

つぼた ゆうじ

【講師】 坪田 有史先生



【ご略歴】

1994年3月 鶴見大学大学院歯学研究科 修了 博士(歯学)

2012年1月 坪田デンタルクリニック(東京都文京区) 院長

2024年4月 鶴見大学歯学部 臨床教授

現在、東京歯科保険医協会会長、日本歯科医学会理事、(公社)日本補綴歯科学会 専門医・指導医、(一社)日本接着歯学会 接着歯科専門医・接着歯科指導医、(一社)日本歯科理工学会 Dental Materials Senior Adviser (歯科接着器材)

【講師からのメッセージ】

2024年度診療報酬改定が4月に行われ、6月に施行された。今次改定は、新設項目や要件変更の項目が多くあり、全体的に理解が困難で複雑な改定といえる。その中で間接法の歯冠修復において、2023年12月に期中掲載された PEEK 冠を含め、今次改定で CAD/CAM 冠、CAD/CAM インレーの大臼歯における適用拡大、エンドクラウンの新設、またインセンティブとして CAD/CAM インレーの形成加算(150点)が設定され、非金属修復に誘導する方向性が示された。とくに間接法のメタルフリー修復では、窩洞や支台歯形態の理解、ならびに歯科接着の活用が必須であり、それらを理解し、習熟する必要がある。本講演では、間接法のメタルフリー修復の勘所を臨床の実際を含めて解説する。

【日時】 2月20日(木) 19:30~21:00

【会費】 会員無料 / 非会員 5,000円 (当日入会の場合は無料)

※今回の研究会は、WEB のみの開催となります。

※ご参加の方には、ZOOM ウェビナーへの事前登録が必要です。

ご参加を希望される方は、事務局(TEL:098-894-9579)までお電話ください